

徳之島チームが南大東島の大規模スマート農業を見学しました (見学レポート)

2021年11月10日(水)、UFSMAとともにスマート農業実証事業を実施した徳之島チームを中心とする9名が南大東島を訪問しました。一行は同島で営まれている大規模スマート・機械化農業について大東糖業やアグリサポートのメンバーと意見交換、圃場作業の見学や体験等を行い、徳之島の圃場に適合する中規模機械化体系確立に向け決意を新たにしました。



左：ビレットプランター 右：線引き機

オペレーターの熟練度合いに関係なくその後の作業が大幅に効率化します。体験者には導入の大きな動機付けになったことでしょう。沖縄では30a程の圃場にも自動操舵機が入っているとのこと、大区画圃場は必ずしも前提ではなさそうです。

午前中は大東糖業会議室で大東糖業やアグリサポートメンバーと意見交換です。まずビデオで南大東島さとうきび生産や製糖工程等を頭に入れて臨みました。メインの自動



徳之島一行(奥)。南大東事業所長方もご参加

操舵関連だけでなく生育調査、品種選定、原料品質測定、トラッシュや糖蜜の畑還元等多岐にわたる熱いやりとりがありました。

メインイベントは午後のGNSS自動操舵トラクタによる線引きとビレットプランターの試乗運転。参加したオペレーター全員がベテラン指導の下、ハンドルから手を離したままでまっすぐ前後進できることを体験しました。線引きの位置データを再利用すれば



真剣に説明を聴く参加者

このほか先進生産者のお話をうかがうこともでき、ビレットプランター植え付けを省力かつ円滑に実施するヒント等を得ました。

徳之島では南大東島の大規模農業機械化(自動操舵トラクタ)体系を島の圃場に合わせた中規模体系を目指しています。これにより、現在構築中の全圃場を対象にした作業受委託システムもさらに効果を発揮するはず。両島の協力によって双方のさとうきびスマート農業が発展することを期待します。

——南大東島のスナップ——



左：かつてはシュガートレイン、今はアグリサポートの農機を整備

右：岩礁くり抜きの海軍棒プール

謝辞：大東糖業、アグリサポートほか関係の皆様、お忙しい中ありがとうございました。